



【 人材育成に努める 】

- 企業等でも同じだと思えますが、教育現場でも「**人材育成**」が大変重要です。子供がよりよく育つには、教員の「**学級・授業づくり**」における力量アップが不可欠です。したがって、**教員にとって研**



修は義務であり、その**研修がよりよい学級・授業づくりを実現**することになります。

「人材育成」は、管理職の業務の中でも最も重要なものです。

- 井波小学校でも、子供のために教員の資質向上に向けた研修を行っています。本日は、富山県教育委員会主催の「初任研協力校研修」がありました。県西部（砺波管内）の初任教員が本校に来て、本校の4年生の授業を参観し、その後、協議会で意見交換をしたり、教育事務所の指導主事から指導助言を聞いたりして学びました。誰でも初任時代があります。私も初任時代は苦労しました。同様に、今の初任教員も子供と関わる喜びを感じながらも、一人一人の自分の課題をもっているはずで、それを解決し、より自分を高め、いかに子供を育てる教師になるかが大きな鍵です。今日の研修を見て、どの**初任教員も自分自身の学びに意欲**だと感じました。また、**若さを武器としたエネルギー**も感じました。同時に、本校の授業を公開したことが、本校の初任教員にとって大きな研修の場となったこともありがたいことです。
- 明日は、本校の教育実践発表会です。本校の「**生き方教育（井波教育A）**」に向けた「**追究学習（井波学①）**」を実践、公開し、他校からの参観者からいろいろなご意見をいただきます。また、指導助言者の福田校長先生（新庄小学校）と高野校長先生（釜ヶ淵小学校）からのご指導、奈須先生（上智大学）のご講演もいただき、今後の本校の教員が飛躍し、そして子供の成長に生かしていきたいと願っています。
- 総じて言うと、**今後の教育界を背負っていく教員にとって大きな学びの場**があることは嬉しいことです。私も微力ながら貢献したいと思っています。